

# 児童園だより

第六号

平成二十三年七月一日発行

## 六月三〇日に発生した地震について（ご報告）

六月三〇日に長野県中部を震源とする地震が発生しました。幸いなことに、当園は児童・職員ともに怪我等一切なく、施設・備品等にも被害はありませんでした。地震発生以来、多くの方々より当園児童・職員の安否を心配されてのお問い合わせをいただきました。日頃から当園にお心遣いをいただいていることに改めて感謝いたしますとともに、今回の地震で被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

## 新任職員紹介

今年度から新しく松本児童園の職員として働いている三人の職員に、自己紹介や抱負等を寄稿してもらいました。

Y・H （調理員 炊事担当）

今年の四月から炊事に入りました。社会人一年目ということもあり、入ったばかりの頃は何をしたらいいのか分からないことばかりでした。今は二ヶ月たったということもありだんだん慣れては来ましたが、分からないこともあります。ですが地道に覚えていきたいと思っています。

余談ではありますが、私の趣味（特技）について書きたいと思います。私は習い事で日本の民族舞踊というものをやっています。北は北海道のソーラン節。南は沖縄のエイサーなどさまざまな地域の伝統的な踊りや太鼓をやっています。機会があれば見てもらいたいです。これからもよろしく願っています。

S・T (指導員 幼児担当)

4月より幼児の担当をしています。働きはじめて早三ヶ月が経とうとしています。園の生活、そして子どもとの生活にも慣れて、楽しく生活しています。

趣味は、バレーボールと水泳です。学生時代はバレーボール部に所属し、汗を流してきました。そんなバレーボールも最近になって再び始めて、今は練習を頑張っているところです。水泳は、子どもに教えていた経験がありますが、自分のペースでのんびりと泳ぐのが好きで、一キロくらい泳ぎます。

今後、お目にかかることがあるかと思えます。よろしく願いいたします。

T・O (指導員 幼児担当)

東南アジアのタイ王国を拠点に、今もなお内戦の続くミャンマー連邦共和国などの地域で難民支援のボランティア活動に従事していた経験があります。

趣味は山登りと岩登りです。北アルプスの山々を眺めることのできる、ここ松本児童園の裏庭が大好きです。機会があれば、登山を通して「目の前の困難を乗り越える喜び」を少しでも子ども達へ伝えることができれば嬉しいと思っています。

関係者の皆様、地域の皆様、そして児童の皆様。毎日、皆様からたくさんのお話を学ばせていただいています。これからもご指導の程よろしくお願いいたします。

### 子どもたちの進級・進学・卒園そして……。

今年もたくさん子どもたちが大人の階段をまたひとつ登りました。今年は、小学生から中学生になった子どもが二名、中学生から高校生になった子どもが五名、高校生から社会人となった子どもが二名でした。それぞれ今までの思い出を胸に刻み、新しい目標と期待を持って頑張っています。

私の個人的なことになりますが、担当している子ども三名が今年から高校生となり、毎日頑張っていて通っています。受験生として臨んだ昨年度はそれぞれ違った生活のペースで、个性的な一面が



プラスにもマイナスにもなる不安定な時期を乗り越え、見事受験を突破し、合格発表の日

には極度の心配と極度の安心を経験した記憶がまるで昨日のことのように思えます。また、高校生二名が社会人となり、皆に祝福され、退園しました。退園する前に「社会は本当に厳しい」と耳にタコができるほど言っていた私の言葉の意味を身を持って体験しています。頑張ってほしいものです。

今回の東日本大震災で亡くなった方々の中に、多くの幼い未来ある子どもたちがたくさん含まれていました。改めて命の大切さを考え、何気なく、何不自由なく普通に生活できていることへの喜びと感謝を子どもたちの周りのいる大人が教えていく必要があると私は感じています。

### 第六十一回開園記念祭を開催しました

去る六月四日、開園六十一周年記念祭を開催しました。

当日は心配されていた天候にも恵まれ、園外からも大勢のお客様をお招きして園の児童、職員とともに開園記念祭を楽しんでいただきました。

はじめに毎年恒例のマラソン大会が行われ、子どもたちだけではなく職員や、来場のお客様の中からも飛び入りでの参加があり、子どもたちと一緒に懸命に走る姿がみられました。

職員がコースの通過点に立って誘導を行い、大きな旗を振って応援していました。ご来場のお客様からも大きな声援を送っていただきました。

そして、例年行われている鉄火井・焼き鳥・かき氷などの模擬店を行いました。「自分たちで作り上げる開園記念祭」ということで、今年は子どもたちが来場のお客様を接待しました。慣れないながらも精一杯おもてなししている姿がみられました。また、揃いのコック服を着て鉄火井を作る姿はとも様になっており、多くの方から好評のお言葉をいただきました。

本年の開園記念祭も例年同様、多くの方にご協力を頂き、大盛況のうちに終了することができました。誠にありがとうございました。

